

社会とのかかわりにおいて

富士重工業は社会の一員として、日々生産を続ける工場の周辺地域や社会と共生し、ともに繁栄していくことが大切であると認識しています。お互いの理解を深める交流会やクリーン活動の実施、基金等への協力、環境関連イベントへの参加を積極的に行っています。また、事業活動をとらして社会の健全で持続的な発展に貢献できるよう努めていきます。

社会貢献活動

「スバルビジターセンター」の開設

自動車工場は、小学生の社会科の授業でも取り上げられるため、授業の一環として見学のご希望がたいへん多くなっています。こうしたご要望にも積極的に対応、社会の一員としての役割を果たしていきたいと考え、創立50周年を迎えた2003年7月、記念事業の一環として群馬製作所矢島工場内に「スバルビジターセンター」を開設しました。同センターの完成により、施設面での整備が進んだことから、矢島工場の見学者受け入れ能力を現状の年間6万人から10万人まで引き上げることが可能となりました。

1階には、スバルの技術が創造する人と車との感動の出会いを表現したエントランスホール、日本のモータリゼーションの幕開けを担ったスバル360や、F1と並ぶモータースポーツの最高峰である世界ラリー選手権に出場したインプレッサWRカーなどをご覧になれる展示ホールがあります。2階には、未来を目指すスバルの技術と環境への取り組みを展示するテクノラボ、リサイクルラボなどがあります。



スバルビジターセンター(外観)



スバルビジターセンター(展示ホール)

自動車文化の発展と振興に貢献

自動車文化の発祥地・ヨーロッパではモータースポーツがさかんで、市民生活に根付いています。私たちは自動車



WRC世界ラリー選手権

文化のさらなる発展と振興のため、「WRC世界ラリー選手権」への参戦や「全日本GT選手権」への参戦支援など、国内外でさまざまな活動・チャレンジを行っています。

モノづくりを担う人材育成支援

群馬製作所では小学生の学習・理解のお手伝いのため、社会と自動車とのかかわりや、自動車はどのようにつくられるのか、自動車はどのような仕組みになっているのかなどについて、工場の見学をしていただいています。また、学習のためのホームページ「スバルバーチャルランド工場見学」も公開中です。

(<http://www.fhico.jp/child.index.html>)



工場見学をする子供たち

スポーツの発展に貢献

当社の野球部は、都市対抗野球大会に太田市代表として出場し、2003年はベスト8まで勝ち進みました。一方、日頃の応援への感謝を込めて、少年野球教室を開催し、地域の少年スポーツの発展に貢献しています。また、10月には「第1回スバル旗争奪群馬県学童軟式野球大会」を実施しました。陸上部は上州路を舞台に元旦に開催される全日本実業団駅伝「ニューイヤー駅伝」に連続出場しました。地元ということで、地域社会の皆さんと一体となった応援が繰り広げられました。



野球教室で指導を受ける子供たち

ニューイヤー駅伝
沿道での応援

地域活動

クリーン活動

埼玉製作所では、北本市が計画する「アダプト・プログラム」に参加しています。

このプログラムは、道路や公園などの公共施設における散乱ゴミをなくし、草花や樹木の維持管理を行い、町の環境美化を促進するなど、行政と市民が協力して行う環境美化活動で、「ぴかぴか北本おまかせプログラム」という名称で呼ばれています。埼玉製作所では2003年9月に第1号の登録を行い、10月から活動を開始しています。

その他の事業所でも特徴あるクリーン活動を毎年継続して実施しています。



「ぴかぴか北本おまかせプログラム」合意書を手に、石津北本市長(右)と埼玉製作所須見所長(当時)

▶2003年度に実施した主なクリーン活動

事業所	主なクリーン活動
群馬製作所	5/24 太田市金山清掃(スバル地域交流会主催、参加者数 約400人)
	9/7 太田市金山清掃(太田市主催、スバル地域交流会参加者数 約300人)
宇都宮製作所	6/14 クリーンキャンペーン(労働組合関係者及び社員など約280人が参加) 宇都宮市役所環境課の協力のもと、工場周辺道路の環境美化を図る。
埼玉製作所	6/5 環境月間に工場前道路の清掃作業(参加者数 約180人)



太田市金山清掃(5月)



工場周辺道路の清掃(埼玉製作所)



宇都宮製作所毎年恒例
クリーンキャンペーン



スバル研究実験センター(栃木県葛生町)
周辺道路の清掃

地域行事の参加・開催

地域の行事に積極的に参加したり、あるいは事業所で地域の方々に参加していただける催しものを毎年継続して開催するなど、さまざまなイベントを通して地域の方々との交流を図っています。

群馬製作所では、スバル地域交流会が主催して「スバルふれあいコンサート」を開催しています。毎年恒例のこのコンサートは、入場は無料ですが来場の方にはタオル、お茶、石鹸、洗剤などのご家庭における日用品の持参をお願いしており、それらの品物は市内の福祉施設へ寄付されます。2003年度は第25回(6/27)、第26回(9/26)、第27回(2/27)を実施し、第27回はおよそ500の方が来場され、たくさんの日用品が寄付されました。「花いっぱい活動」では2003年度は合計11,000本以上の花の苗を配りました。

また、宇都宮製作所では、従業員が知的障害のある方々(中学・高校の年齢)30人を対象に空手指導(礼儀作法)を行いました。



創立50周年記念スバル
大感謝祭の会場風景



第27回ふれあいコンサート
(2003年2月)



▶2003年度参加/開催した主な行事

事業所	行事
群馬製作所	5/30 大泉工場で「ふれあい感謝祭」を開催(来場者約3,000人)
	7/20 スバルみこしが「太田まつり」に出陣(総勢約1,200人)
	7/26 「大泉まつり」に参加(総勢約600人)
	10/5 矢島工場で創立50周年記念「スバル大感謝祭」を開催(市民、従業員と家族など来場者約30,000人)
宇都宮製作所	8/30 恒例「盆踊り大会」を開催(地元自治会、育成会、従業員他多数参加)
埼玉製作所	11/1・2 「北本まつり」(「宵祭り」「産業祭」部門)に参加

各種イベントへの協力、寄贈・支援

自動車部門では低公害車フェアなどに出席し、ご来場の方に実際に見ていただき、低公害車へのご理解をいただいています。また、エコテクノロジーカンパニーでも、各地の環境展などに風力発電システムや環境関連製品の展示を行いました。

▶各種展示会への出展

開催日・展示会名	開催場所	主催
5/21(水)～23(金) 人と車のテクノロジー展2003	パシフィック横浜	自動車技術会
5/31(土)、6/1(日) エコカーワールド2003	代々木公園	環境省等
6/2(月)～4(水) 世界ガス会議東京大会展示会	東京ビッグサイト 屋外展示場	国際ガス連盟
7/16(水) 国土交通Day低公害車展示会	合同庁舎3号館 1階駐車場	国土交通省
8/24(日) やまがた環境フェスティバル	最上広域交流センター 「ゆめりあ」	NHK山形放送局等
9/3(水)～6(土) 2003NEW環境展	インテックス大阪	日報イベント(株)
9/6(土)、7(日) 低公害車フェアなごや2003	鶴舞公園	名古屋市
9/19(金)、20(土) OSAKA低公害車フェア	大阪ビジネスパークツイン21	大阪府
10/22(水)～11/5(水) 第37回東京モーターショー	幕張メッセ	日本自動車工業会
10/25(土)、26(日) クリーンアップフェア2003	栃木県 子ども総合科学館	栃木県
11/16(日) 太田市環境フェア	太田市役所	太田市
11/21(金)～23(日) 低公害車フェアinおおさか	アジア太平洋 トレードセンター	大阪市
12/11(木)～13(土) エコプロダクツ2003	東京ビッグサイト	新エネルギー・産業技術 総合開発機構など

従業員が気軽に参加できるボランティア活動として、使用済切手やプリペイドカード、ベルマークの回収による寄付、緑の募金等の活動も続けています。

本社では、今年もサンケイリビング新聞社を通じて、使用済切手とプリペイドカードは「ジョイセフ(家族計画国際協力財団)」へ、ベルマークは「ベルマーク教育助成財団」へ寄付されました。宇都宮製作所では毎年緑の募金を行っていますが、今年も栃木県緑化推進委員会に届けられ、3,000本の苗木となりました。



回収した約 5,000 枚の
プリペイドカード(本社)



緑の募金(宇都宮製作所)

受賞など

航空宇宙カンパニーがボーイング社「2002 サプライヤー・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞

2003年4月、宇都宮製作所において、「ボーイング2002 サプライヤー・オブ・ザ・イヤー賞」の授賞式(3月に米国シアトルで行われた授賞式に引き続き日本版として



ボーイング社「2002 サプライヤー・オブ・ザ・イヤー賞」授賞式の様子

で行われたもの)が行われました。当社のお客様であるボーイング社より、同社の取引先約1万1,300社の中から航空機の大規模分野において同賞をいただきました。

ポラリス社が ATV オブ・ザ・イヤーを受賞

産業機器カンパニー製のエンジン(EH50PL・ES32)を搭載したポラリス社のATV「ATP」(オール・テラニ



受賞したポラリス社の4輪バギー「ATP」

アン・ピックアップ)が、北米で最高の性能・評価を得たATVに与えられる賞であるATVオブ・ザ・イヤーを獲得しました。

(注)ポラリス社、ATVについては2003環境報告書のP22をご覧ください。

「予混合圧縮着火ガソリン機関の研究」が自動車技術会賞論文賞を受賞

内燃機関の究極・理想の燃焼方式として注目されている「予混合圧縮着火燃焼方式」を、市販のガソリン燃料を用いたガソリン機関で実現し、直接噴射式ディーゼル機関と燃費が同程度でかつNOx、PMフリーの燃焼を行わせる機関の可能性を示したものとして、その研究成果が認められました。



受賞した研究者たち

航空業界で「協会特別賞」を受賞

航空宇宙カンパニーは、「無公害塗装剥離剤の開発」と題する研究で、社団法人日本航空技術協会の「協会特別賞」を受賞しました。この研究は、アルコール系の無公害剥離剤を開発することにより、航空機の整備時に必要となる、環境に有害な物質を多量に含んだ有機溶剤を全面的に転換するというものです。この開発により、ジクロロメタンなどに代表される塩素系有機溶剤の使用全廃の目標を達成しています。